

令和2年度 北区組織目標

組織名	北区	区長	北区長 高橋 昌子
組織の目的・方向性	北区区ビジョンまちづくり計画で区の将来像として掲げた、「自然・活力・安らぎにあふれるまちー住みたくなるまち 北区ー」のもと、「住みたい」はもちろん「戻ってきたい」「住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりを進めます。		

北区組織目標

「住みたくなるまち 北区」を目指し、北区区ビジョンの5つの区のすがたに重点的に取り組み、北区の魅力を高め、地域との協働を推進します。

〈重点目標〉

- 1 自然環境の保全と積極的活用
- 2 都市基盤の整備
- 3 魅力ある産業の振興
- 4 学びと健康・福祉の充実
- 5 安全で快適な環境づくり

※重点目標における指標や取組状況は、組織目標管理シートをご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	25	達成数	15
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で、取組みを再開するなど、少なからず感染症拡大の影響を受けた取組みが多くありました。 ○ 自然環境の保全と積極的活用では、ひょうたん池と十二潟で地域と協働し、保全活動や観察会に取り組みました。 ○ 都市基盤の整備では、新崎駅自由通路へのエレベーター整備などの事業を進めるとともに、自治会からの要望に対し、調査や評価の仕方などを見直し、迅速に取り組めるよう改善を進め、市民満足の向上に努めました。 ○ 魅力ある産業振興においては、地域商業活性化のため、松浜地区で味噌づくり体験やこらっせ松浜市を、葛塚地区では似顔絵や婚活イベントを行いました。また、農業分野へのICT等新技術の導入に向けた準備などに取り組みました。 ○ 学びと健康・福祉の充実においては、誰もが安心して健康で暮らせるまちづくりを推進するため、地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定したほか、専門職による介護予防に関するテキストとDVDの作成やもの忘れ健診を実施し、認知症の早期発見・早期治療に努めました。 				

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安心・安全で快適な環境づくりにむけ、地域での災害リスクへの理解向上のための説明会開催や、防犯パトロールやボランティア清掃活動等に取り組みました。
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然環境の保全と積極的活用 地域との協働により、保全活動に取り組むとともに、水辺が自然教育、地域づくり、ふれあいの場になるよう活用を推進します。 ○ 都市基盤の整備 生活基盤である道路、公園等の維持管理に努めるとともに、地域課題の解決に向け、地域と一緒に取組み、愛着や誇りの持てる環境づくりを推進します。 ○ 魅力ある産業の振興 基幹産業でもある農業分野では、施設園芸へのICT技術の導入やブランド力強化を進めるとともに、地域商業活性化のため、新型コロナウイルス感染症に対応した新たな取組みを実施します。 ○ 学びと健康・福祉の充実 「つながり、交流し、支えあう地域づくり」を推進するため、地域福祉計画、地域福祉活動計画を着実に推進し、健康寿命の延伸や認知症予防の取組みを進めます。また、SNSによる子育て情報の配信や地域の中で子育てを支援します。 ○ 安全で快適な環境づくり 地域の自主防災力の向上を推進するとともに、避難のあり方について住民自ら考える機会を作ります。地域情報共有を求める声が多い地域の防犯団体の活動などについてや意見交換の場を提供し、犯罪のない安心・安全なまちづくりを進めます。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-387-1150

年度	令和2年度	
組織名(部)	北区	組織名(準部・課・機関名)
組織の目的	北区区ビジョンまちづくり計画で区の将来像として掲げた、「自然・活力・安らぎにあふれるまちー住みたくなるまち 北区ー」のもと、「住みたい」はもちろん「戻ってきたい」「住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりを進めます。	

作成日	令和2年4月1日
修正日	
評価日	令和3年3月31日

No.	部 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標	R2結果			補足・参考指標
1	1	地域と協働し水辺環境の保全と積極的な活用を推進します。	・異常発生植物等の駆除 ・観察会・勉強会の実施 ・環境保全活動	取り組み地区数(地区)	-	-	-	2	2		ひょうたん池と十二湯の2地区で、コミュニティ協議会や地元のNPO法人と協働して取り組み、異常発生植物等の駆除や観察会を実施しました。	達成
2	2	「北区生活交通改善プラン」(令和2年3月策定 3カ年計画)に基づき、身近な生活交通を確保します	通常11便、早朝ライナー便、冬季臨時便(南浜中学通学対応)の継続運行	区バス収支率(%)	34.0	32.1	32.6	32	31.4	・左記収支率には反映していないが、令和元年度は社会実験便として、水曜・金曜限定で往路・復路各1便増便⇒収支率低迷(8.9%)で令和2年度廃止	コロナ禍の影響もあり、若干目標には達しませんでした。区バスの必須収支率の30%は、達成することができました。	一部未達成
3			社会実験の継続および本格運行に向けた取り組みの実施	デマンド交通の乗合率(%)	28.6	49.1	46.8	45	53.0	・対象地域:長浦・岡方地区、葛塚地区一部地域 期間:H24.10~ ・平成29年7月より運行内容を一部変更(運賃、時刻表の設定、運行日、予約方法) ・令和元年4月より地域が運営主体となる ・令和2年度料金体系を変更予定。	長浦地区で親族による乗合が定着しています。岡方地区では親族以外の乗合が増えてきています。地域との協議を重ね、料金体系の変更について合意を得ましたが、関係課とは調整中です。令和3年度中には改定する方向で取り組みます。	
4	2	新崎駅自由通路両側にエレベーターを設置し、児童の通学路や避難路としての利便性向上と安全性の確保を図ります。	・JRや本庁など庁内外の関係機関との協議 ・測量や設計業務委託の発注	業務委託の発注				業務委託の発注	業務委託の発注	・関係機関との協議実施 ・現況測量・概略設計等の業務委託の発注	・JRとの協議を実施しながら、発注した委託業務を完了し、併せて次年度の進め方についても方向性を出すことができました。	達成
5	2	市民要望等に対する満足度の向上を図ります。	・自治会からの一般土木工事の要望に対する公平・公正な箇所付けの実施 ・判定表の評価基準の見直し ・現地調査方法や採択方法などの改善	評価項目・点数配分・判定基準・調査方法について多角的な検討を行い箇所付けを実施				箇所付けの決定	箇所付けの決定	・採択方法の見直し ・次年度工事の箇所付け ・回答書作成に向けた資料整理	・現場調査を行い、状況を把握した中で客観的指標に基づいて判定し、次年度工事の箇所付けを行いました。 ・要望自治会への具体的な説明により要望件数が減少した結果、昨年度より採択率はアップし、未採択件数は減少しました。	達成
6	2	上半期の高い工事発注率を維持します。	・工事の早期発注	上半期の工事発注率(%) (発注件数/当初計画61件)	85.3	86.6	91.4	85	89.8	・当初発注計画250万以上の工事件数を分母とした上半期発注率85%以上の発注	・上半期において、当初予定の250万円以上の工事59本のうち53本を発注し、目標を上回り達成しました。	達成
7	3	地域商業活性化のため、テーマを設定し、テーマに沿った商品、コンテンツ開発やPRを行い、各店舗等において使用することで新規誘客とイメージアップを図ります。	・地域商業賑わい創出プロジェクト	テーマに沿った新しい様々なイベント等の実施(回)	3	3	4	3	4		松浜地区では味噌づくり体験、こらっせ松浜市、葛塚地区においては、似顔絵のSNSでの情報発信、婚活事業を行いました。	達成
8	3	官民一体となった海岸保安林の保全活動を推進し、森林資源や環境を有効に活用する方策を検討します。	・下草刈などの保全活動の実施 ・コミュニティビジネスの支援	保全活動の実施 (参加人数)		169	161	160	157	・保全活動エリア約5haを住民と協働で維持管理します。	新型コロナウイルスの影響で、予定していた活動回数が減ったにもかかわらず、毎回多くの方に参加いただき、ほぼ目標を達成することができました。	未達成
9	3	生産現場にICT等の新技術を導入することで農業所得の増大、担い手の確保を図り、地元ブランド農産物の安定生産を実現し、地域経済の活性化につなげます。	・農作業の省力化、品質の平準化を可能とするICTを活用した新技術の導入に向けた検討の実施	検討会の開催数(回)	-	3	2	3	2	・産学官連携及び、北区の農業者・農業法人等も交えた検討組織において、取組みの方向性・施設園芸におけるICT導入に向けた方策を検討します	・施設園芸におけるICT導入に向けて具体的な機器を選定するとともに、来年度のモデル事業の実施に向けて、実施予定者を確保することができました。	未達成
10	3	新規就農希望者の支援や農業法人への研修生受け入れ促進によって雇用を創出します。	・新規就農希望者の相談対応 ・農業次世代人材投資事業 ・青年等就農計画の作成支援 ・補助事業による支援	新規就農相談(件数)	8	17	6	8	7	・北区で新規就農を希望する相談者に対し、支援を行い後継者の確保に努めます。	・関係団体と連携し、新規就農希望者と未利用パイプハウス所有者のマッチング活動を積極的にを行い、1名新規就農につなげました。	未達成
11	3	濁川地区の新たな工業用地の確保に向けた取組みを進めます。	・市街化区域編入に向けたスケジュール管理の徹底 ・組合設立に向けた業務支援	市街化区域編入と併行した組合設立資料の作成	-	-	資料の作成	資料の作成	資料の作成	・本課との連携を図り市街化区域の編入 ・組合設立に向けた業務支援	組合に対し設立に向けた支援を行い、3月下旬に設立総会を行うことができました。	達成
12	4	誰もが安心して健康で暮らすまちづくりを推進するため、北区地域福祉計画・地域福祉活動計画の次期計画を策定します。	・「地域福祉計画・地域福祉活動計画推進・策定委員会」を開催し、各地域コミュニティ協議会や区社会福祉協議会など福祉関係機関等との協働により福祉座談会を開催し、目標設定を行うとともに、地域福祉計画・活動計画推進・策定委員会において時期計画の策定を行う。	推進策定委員会開催 地域福祉座談会				委員会3回 座談会8回	・委員会3回(内、書面開催1回) ・座談会8回 ・講演会の開催	・推進・策定委員会3回開催 ・地域福祉座談会(各8コミュニティ協議会の開催(8回開催)) ・計画策定記念講演会の開催	・地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を3回開催し、次期計画策定に向け協議しました。地域福祉座談会は、区社会福祉協議会と協働し、各コミュニティ単位で8回地域福祉座談会を開催しました。 これにより、地域福祉計画と地域福祉活動計画を地域とともに、一体的に策定しました。	達成
13	4	介護予防の知識と方法を提供することで、自ら介護予防に取り組むことができる高齢者を増やし、健康で暮らせるまちづくりを推進します。	・高齢者が集まる場所やコミュニティセンター等を会場として専門職による介護予防に関する健康講座の開催	講座開催数(回)	-	54	61	50	・DVD・テキストの作成(手法変更)	・昨年度目標開催回数と同数の50回 ・講師は理学療法士、作業療法士、栄養士、歯科衛生士、言語聴覚士 ・講座内容は転倒予防、筋力・体力増強、摂食・嚥下体操、低栄養改善など	・新型コロナウイルス感染症予防のため、手法を変更して実施した。 高齢者の集まる場所へ、介護予防のため理学療法士などの専門職を派遣する事業の代替事業として、専門職2団体に、自ら介護予防に取り組んでもらえるように、テキストとDVDを作成し、関係団体に配布しました。	達成
14	4	健康寿命の延伸に向けて、特定健診の受診率を向上させるとともに、生活習慣病の重症化予防を推進します。	・健診カレンダーの全戸配布 ・未受診者に対する受診勧奨 ・健康教育など地域活動時の声かけ ・ミニドック型集団健診の実施 ・高血圧に注目した健康講座の開催	特定健康診査受診率(%) 市受診率	33.55 (4,799人)	33.9 (4,754人)	29.55 (4,002人)	0.3ポイント UP (対前年比)	24.39 (3,225人) 市受診率 25.10 (2021年2月5日)	・架電による受診勧奨の実施 ・新規国保加入者へ電話による受診勧奨の実施 ・ミニドック型集団健診を北区コミュニティセンターと豊栄健康センターで実施	・受診率は、年度途中の集計結果ですが、市平均を下回っています。 ・健診カレンダーの全戸配布、業者委託による架電での受診勧奨(1,600世帯)、また、新規国保加入者への受診勧奨(95名)を実施、ミニドック型集団健診を2会場3日間で実施、コミ協や学校への声かけや健康教育などを実施し、受診率の向上に努めました。	一部未達成
				生活習慣病予防講座開催数(回)	10	11	7	4	4		・新型コロナウイルス感染症予防のため、定員とコースを変更、また、試食やグループワークは行わず実施しました。	達成
15	4	高齢化の進展に伴い、増加が予想される認知症患者を早期に見出し、早期治療につなげます。	・もの忘れ検診の実施 ・検診会の実施 ・認知症に関する啓発 ・地域の茶の間などのリーダー養成	受診者数(人)	2,299	1,393	1,150人	1,000人	804人 (2021年2月末報告分まで)	・昨年度実績に基づき、受診者数1,000人となりました。	・受診者数(R3.2末現在)は減少していますが、要経過観察、要精密検査全員に地域包括支援センターが関わり、必要なサービス利用につなげることができました。	一部未達成
				地域での認知症予防講座開催数	-	2	7	7	15	・令和2年度も引き続き茶の間で実施できるよう認知症予防講座として実施	・サロン等に作業療法士(職員)・運動普及推進委員が出向き13回の予防講座を実施し142名(R3.2末現在)の参加がありました。	達成
16	4	妊娠期から出産後の切れ目ない子育て支援を行います。	・月1回の支援検診会の充実 ・支援を要する対象者への妊娠期からの継続的な支援の実施 ・ケースワーカーと保健師と連携した支援	支援を必要とする妊産婦に対する相談及び訪問を実施した数(人)	検診会12回	必要な対象者への支援100%	必要な対象者への支援100%	対象者に対する全数	対象者に対する全数	・検診会で全妊婦の母子手帳交付時の状況を確認し支援が必要か決定します。 ・産後新たに支援が必要になった人の振り返りを含めた検診会を充実しました。 ・障がい福祉サービス等円滑な利用につなげます。	・月1回の検診会で全妊婦の検診と全新生児訪問の結果を確認し支援の必要な人と支援方針を決定、さらに相談及び訪問状況のモニタリングを行い、対象者実84人、延163人に妊娠前から出産後の切れ目ない子育て支援を行いました。 ・ケースワーカーと保健師と協働で支援し、医療依存度の高い乳幼児を早期に障がい福祉制度に繋ぐことができました。	達成
17	4	健康寿命の延伸や介護予防に向けて、自ら予防できる市民を増やし、健康で暮らせるまちづくりを推進します。	・地域の茶の間や市民が集う場での特定健診の受診勧奨 ・特定保健指導の未利用者訪問 ・メタボ予防の運動講座(ウォーキング講習会) ・関係機関と連携した、健康寿命延伸に関する知識の普及啓発	高血圧予防等生活習慣病予防をテーマにした健康教育(回)	-	-	-	12	16	・地域茶の間の茶の間やコミュニティ協働事業等でない中、がん検診等の保健事業などで地域の健康課題や減塩をテーマにした健康教育を16回行い、知識の普及啓発を行いました。 ・特定保健指導未利用者訪問や運動講座では個別支援を行い、民生委員等関係機関とは連携して特定健診受診勧奨や健康寿命延伸に関する知識の普及啓発を行いました。	達成	
18	4	市民視点で業務改善を推進し市民サービスの向上に取り組めます。	・窓口業務や個別ケース支援の質の向上	OJTによる研修会の開催(回)				5	6	・主要な窓口業務についてOJTで研修を行い迅速かつ正確に窓口対応ができるようになります。 ・特定妊婦・児童虐待ケース・処遇困難ケース等を検討し職員スキルアップにより市民への支援の質の向上を図ります。	・介護保険認定申請等申請受付件数の多い業務について6回の研修会を開催しました。 ・ケース検討会は、関係職員の参加も得て、児童虐待ケースや処遇困難ケースの検討会を3回行いました。また、所属内でも検討会を行い、支援の質の向上に取り組まれました。	達成

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標	R2結果			補足・参考指標
19	4	スポーツ活動を通じた区民の一体感を醸成するとともに、文化・芸術事業による賑わいの創出と地域の活性化を図ります。	区スポーツ協会などと連携して ・競技別大会の実施 ・ニュースポーツの体験会 ・スポーツレクリエーションの実施 ・市民・指定管理者・行政の協働による北区文化会館の利用促進	参加者数(人)	2,296	1,960	1,928	2,000	813	・多くの人が参加できるよう、指定管理者や関係団体と連携して取り組みます。 ・新型コロナウイルスの影響が収束しない中で、感染症拡大防止対策を講じた上で事業を実施したため、目標を下回りました。	未達成	
				年間利用者数(人)	90,541	88,824	78,023	65,000	33,450	・新型コロナウイルスの影響を3か月間と考慮し、前年度目標の約75%と設定します。		
20	4	常設展及び、常設のテーマを深化・拡大した企画展の充実を図ります。そして、それらに関連するさまざまな事業を多角的に行うことにより、北区民の地域への関心を高めるとともに、一体感を醸成するよう努めます。さらには、郷土芸能の伝承を支援します。	・常設展「阿賀北の大地と人々のくらし」をテーマに教室等を開催 ・常設展拡大企画「昭和のくらし5」等の開催 ・ふるさと学習の利用拡大 ・(小中学生公募)「松蔭賞書道展」、「北区こども科学展」など ・「写真と映像、そして本物で見る-北区の神楽と獅子舞のここに注目展」 ・美術企画展「美術にみる 型とシンボル展—画像の伝統と現代—」	年間入館者数及び事業参加者数(人)	10,019 (入館者: 8,610人、 館外事業参 加者:1,409 人)	9,141 (入館者: 8,265人、 館外事業参 加者:876 人)	9,068 (入館者: 8,895人、 館外事業 参加者: 173人)	7800 (入館者: 7,600人、 館外事業 参加者: 200人)	6,497 (入館者: 6,242人、 館外事業 参加者: 255人)	・常設展拡大企画展の開催 ・ふるさと学習の利用拡大 ・美術企画展の開催 ・恒例の「博物館まつり」においては、令和元年度は郷土芸能発表会を2日間行ったことや、新しい試みとして高校書道部によるパフォーマンスを催したことなどにより、平成30年度の2.5倍(1,020人)の来館者がありました。今年度は祝日の並びから、1日だけの開催となるため、来館者数の4割程度の減少が予想されます。また新型コロナウイルス感染症の影響で、上半期の入館者数の20%減少を想定し、7,800人となります。	・コロナ禍の元20日間の休館、再開後もマスク着用、手指消毒、検温などを行いました。 ・入館者の氏名把握が難しいので「博物館まつり」は中止しました。また、松蔭賞の開催時期を調整した関係で「北区子ども科学展」を中止しました。 ・一方、少人数、参加者の氏名把握が可能な、「歩いて！バスで！おとなの北区探検ツアー」、歴史を学ぶ講演会を開催し、好評をいただきました。	未達成
21	5	地域の自主防災力の強化を図ります。	・地区の災害リスク、避難のあり方について説明会を実施	説明会の実施組織数	-	-	-	20	14	・「避難の目的」、「避難所開設基準」チラシ及び総合ハザードマップ等を用いて説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標とする説明の実施機会が得られませんでした。	未達成
22	5	自治会・町内会、地域コミュニティ協議会、市民団体などとの協働により地域課題を解決します。	・地域活動補助金 ・コミ協運営助成金 ・コミ協等への支援(助言等)	協働した団体数	28	67 (28)	31	28	19	・団体実数 ・平成30年度実績のうち、地域活動補助金により協働した団体数には、地域による子どもの見守り活動を支援する緊急枠により協働した39団体を含む。括弧書きは緊急枠を除いた団体数。	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標とする協働の機会が得られませんでした。	未達成
23	5	生活環境に関する地域課題について地域と協働し事業を推進します。	・ボランティア清掃等への支援 ・住み郷支部事業	支援件数(件) 環境美化等支援事業数(件)	146 4	142 4	145 3	100 3	120 1	・ゴミ袋の支給、ゴミばさみの貸与、収集ごみの処分 ・地区コミ協等3地区	ボランティア清掃については、コミュニティ協議会や自治会への支援により地域と協働し、目標を達成しました。住み郷支部事業への支援については、コロナ禍の影響もあり、コミ協での検討が間に合わなかったことなどにより、1地区にとどまりました。	一部未達成
24	5	犯罪のない安心・安全なまちづくりを進めます。	・青色回転灯車による防犯パトロール	実施回数(回)	-	-	-	30	35	・特殊詐欺の防止等 5月～12月週1回	防犯パトロールを35回実施したほか、警察や関係団体と連携し、啓発活動を行いました。	達成
25	5	災害時に迅速に対応できるよう災害支援協定を締結した民間団体との連携強化を図ります。	・民間団体との意見交換会や連携体制の徹底・確認を目的とした合同訓練の実施	意見交換会(回) 合同訓練(回)				2	2 1	・民間団体との意見交換会により抽出された課題に対応する合同訓練の実施	・10月の合同訓練に向け、事前に訓練方法等について打合せを行いました。 ・訓練後には、次年度に向けた反省会を行い、開催時期などについて検討しました。(春先に開催予定)	達成